

落ち葉の時期になると、はいてもはいても片付くことのない落ち葉。  
ごみにだすより、有効活用の意味でも腐葉土を作ってみませんか。

## ポリバケツでの 落ち葉 腐葉土の作り方

東亜飯田株式会社はごみの減量化とCO<sub>2</sub>削減に向け、落ち葉を腐葉土化することを推奨しています。

手軽にできる落ち葉の腐葉土化をご紹介します。

### 用意するものの一例

- 落ち葉（45ℓのごみ袋に5袋位）
- ポリバケツ（75ℓ位）
- 水（25ℓ位 \* 落ち葉の乾き具合にもよる）
- 米ぬか（3kg位 \* 少なめでもよい）

### 腐葉土作りに向く落ち葉

- 広葉樹の落ち葉ならなんでも使えます。

### 腐葉土作りに向かない落ち葉

- スギ、マツ（ヤニを含んでいるため腐れにくい）
- ヒノキ、カヤ等の針葉樹。



## 🍂 作り方 🍂

- ① 落ち葉、ふたつきのポリバケツ、米ぬかを用意します。



- ② ポリバケツ内の通気をよくして好気性の菌を活性化させるためにドリル等でポリバケツに穴を開けます。（ふたには穴を開けないでください。）

6mm～8mm程度のドリルの刃で底面10箇所、側面20箇所位



- ③ ポリバケツの底に20cm位、落ち葉を入れます。  
④ 米ぬかを1つかみか2つかみの量を全体に振り入れます。  
⑤ 落ち葉と米ぬかを交互に入れ混ぜて、よく踏んで固めます。  
⑥ 落ち葉全体に湿らせるだけの水を入れます。



- ⑦ ③、④、⑤、⑥ を繰り返し行い、一杯になったら、重石をのせてふたをします。  
(重石は10～15kg程度)
- ⑧ 2週間後に全体をかき混ぜます。乾燥しているようなら、水を足します。  
その後2週間毎に1回ほどかき混ぜます。



- ⑨ 約半年～1年後に、真っ黒になりわずかに落ち葉の形が残っている程度になれば完成です。



- \* ポリバケツ以外にも、ダンボール箱、発砲スチロール箱等、色々な容器でつくれますので試してみてください。



帯広市公園指定管理者 東亜飯田株式会社



〒080-0040 帯広市西10条北6丁目6番地



TEL 0155-34-9698 FAX 0155-34-9613

